

## 『なかまあつめ学習盤』を使った指導例

(1) 動物の分類と分類した動物の数量を数える。

ここでは、パンダ、トラ、ゾウの3種類のタイルを数量を変えて入れ物に入れておく。3種類のタイルを数系列盤の枠ごとに分けて並べさせる。その後で、それぞれの数量を数えて数量を表す数字タイルをそれぞれの枠に合わせておさせる。



(2) 数種類の図柄のタイルを分類する。

ここでは、イチゴ、スイカ、ミカン、チューリップ、アサガオ、ヒマワリ、トラ、ゾウ、パンダの9種類。1種1枚ずつタイルを並べておき、他のタイルを入れ物に入れておく。同じ図柄のタイルを並べさせる。



(3) (2) で並べたタイルを、さらに同じカテゴリーに分けて並べさせる。つまり、動物、花、果物に分けさせる。



#### (4) 抽象と捨象

分類する際には、ある特定の属性を抽象しその他の属性を捨象する必要がある。

写真は形を捨象して色を抽象する課題である。形に捉われることなく、色だけに注目して分けていく学習である。



次に、下の写真は、色を捨象して形を抽象する課題である。色に捉われずに、形だけに注目して分けていく学習である。



学習においては、特定の事物から、抽象・捨象しながら分類したりすることが必要になる。これらの積み重ねにより、子どもたちに様々なものの概念形成がなされ、子どもたちはそれを獲得して成長していくと考えられる。